

生体計測技術が開く未来
～安全・安心・ゆとりで広がるビジネスチャンス～

開催期日:平成19年2月27日(火)

申込締切:平成19年2月20日(火)

主催:(社)精密工学会

企画:事業部企画第1グループ

協賛(予定):大田区産業振興協会/SME東京支部/TAMA産業活性化協会/TAMA-TLO/応用物理学会/機械振興協会/軽金属学会/計測自動制御学会/自動車技術会/情報処理学会/電気加工学会/電気通信協会/電子情報通信学会/東京都金属プレス工業会/日本オプトメカトロニクス協会/日本金型工業会/日本機械学会/日本工学会/日本工作機械工業会/日本自動車工業会/日本設計工学会/日本塑性加工学会/日本ソフトウェア科学会/日本ダイカスト協会/日本鋳造工学会/日本溶接協会/日本ロボット学会/発明協会東京支部/東京湾岸地域大学間コンソーシアムによる社会人キャリア・アップ運営協議会(TOBAC)/コンピュータソフトウェア協会(CSAJ)

近年、急速な社会のネットワーク化の進展に伴い、安全・安心な社会実現のための個人認証技術の必要性がますます高まっています。加えて、快適さやゆとりなど、日常における生活の質の向上がますます重視されるようになってきています。このような、安全・安心でゆとりのある社会を指向する市場において勝者となるためには、バイオメトリクスなどに代表される生体計測技術が欠かせません。

本講習会では、バイオメトリクス技術を含む最先端の個人認証技術の最新動向と、これらの技術のシステムへの適用事例について、第一線で活躍の方々を講師にむかえご講演いただきます。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

日 時 平成19年 2月 27日(火), 9時45分～ 17時00分

会 場 中央大学理工学部後楽園キャンパス (〒112-8551 東京都文京区春日 1-13-27) (予定)

*後楽園駅(東京メトロ丸の内線, 南北線)下車徒歩約5分 *春日駅(都営地下鉄大江戸線, 三田線)下車徒歩約7分

*水道橋駅(JR 総武線)下車徒歩約10分

☆ 会場 URL: http://www.chuo-u.ac.jp/chuo-u/access/access_korakuen.html

司 会: 近藤 伸亮(産業技術総合研究所), 香川 美仁(拓殖大学)

次 第(予定)

時 間 (仮)	題 目(仮)	内 容	講 師
9:45 ～10:45	【基調講演】セキュリティの観点からみたバイオメトリック認証の課題と展望	バイオメトリック個人認証技術の特徴と応用事例とともに、セキュリティの観点からの検討課題と展望について解説します。	早稲田大学理工学術院 教授 小松 尚久氏
10:45 ～11:45	【技術1】:指の静脈パターンを用いた個人認証技術	生体情報のひとつである指の静脈パターンを用いた個人認証技術についてご紹介いただきます。	(株)日立製作所 中央研究所 ライフサイエンス 研究センター 主任研究員 河野 美由紀氏
11:45 ～12:45	昼 食		
12:45 ～13:45	【ビジネス事例1】:空港でのバイオメトリクスを活用したボーダーコントロール	出入国管理行政の現状と課題, バイオメトリクス導入による期待とその効果について話します。併せて、IC旅券, 要注意人物照合, 自動化ゲートについて紹介します。	法務省入国管理局出入国情報 管理室 補佐官 君塚 宏氏
13:45 ～14:45	【技術2】:マイクロ化学分析による生体情報モニタリング	μ -TAS を利用した生化学分析と, 唾液からストレス指標物質などを検出しリアルタイムモニタリングする技術への応用およびその可能性についてご紹介いただきます。	首都大学東京 准教授 内山 一美氏
14:45 ～15:00	休 憩		
15:00 ～16:00	【技術3】:音声による本人認証技術	音声による本人認証技術に関して, 代表的なアルゴリズム, 精度評価における留意事項および適用事例を, デモをまじえて概説します。	(株)アニモ 取締役副社長兼 ソフトウェア技術開発部長 木村 晋太氏
16:00 ～17:00	【ビジネス事例2】:生体計測技術を用いた健康生活支援システム応用例	生体計測技術を用いて, 生活にゆとりをもたらすビジネス事例として, マッサージチェアや快眠家電, 高齢者見守りシステム等の健康生活支援システムについてご紹介いたします。	三洋電機株式会社 ヒューマンエコロジー研究所 課長(工学博士) 藤原 義久氏

定 員:60名(先着順で定員になり次第締切ります)

参加費:会員(賛助会員および協賛団体会員を含む)20,000円, 非会員30,000円(テキスト代含む), 学生会員 無料(ただし, 資料ご入用の場合は, 4,000円をご負担ください), 学生非会員 6,000円(テキスト代含む)

資 料:資料のみ, または聴講者で2冊以上ご希望の場合, 1冊4,000円

申込締切:平成19年2月20日(火)

申込方法:会告****ページ掲載の講習会・シンポジウム等申込方法参照。

申込先:精密工学会

〒102-0073 東京都千代田区九段北 1-5-9, 九段誠和ビル 2F, 電話 03-5226-5191, Fax03-5226-519

<http://www.jspe.or.jp> から申し込みできます。